京城日報
朝刊
京城府中區太平通一丁目三十一番地
發行所　合資會社京城日報社
編輯兼發行人　高仲　印刷人　宮野　太平

御安着遊ばされた李王、同妃兩殿下（飛行場にて謹寫）

李王、同妃兩殿下 御墓參の爲御歸鮮

きのふ空路恙なく御着

李王職發表【六月廿八日】李王、同妃兩殿下には御墓參の爲本日午後二時十五分京城飛行場御着、同飛行場に於て小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監初め親任官、同待遇者並に同夫人、總督府各局長、京畿道知事、京城府尹、主なる御親族其の他の奉迎を受けさせられ午後二時廿五分飛行場御發、午後三時御機嫌麗はしく昌德宮に入らせられたり

大東亞戰爭完遂に御多端なる軍務の寸暇をさいて李王垠殿下には同妃方子女王殿下御同伴、事務官山下平一氏、御附武官伊頭誠中佐、典醫岡本陽七氏、御用取扱三浦清子女史を帶同、御墓參のため廿八日午後二時十五分京城飛行場御着、空路御歸鮮遊ばされた

飛行場には大妃殿下、李鍵公家、李鍝公家の三御使、小磯總督、同夫人、板垣朝鮮軍司令官、田中政務總監、同夫人、篠田城大總長をはじめ、江口總務局長外總督府各局長、李家中樞院副議長、朴忠重陽、韓相龍、伊東致昊の各中樞院顧問、竹原京城師團長、井原朝鮮軍參謀長、小林部隊長、中井憲兵隊司令官、李恒九李王職長官、波田總務課長、高京畿道知事、古市京城府尹等軍官民代表者多數整列して奉迎御待ち申しあぐれば、兩殿下御搭乘の飛行機は上空を一旋回、夏草を蹴つて御安着、凛とした軍裝の李王垠殿下、御洋裝の同妃殿下には御機嫌麗はしく降り立たせられ、下城航空課長の先導にて賜謁室に入らせられ、大妃殿下、李鍵公家、李鍝公家の御使をはじめ小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監、同待遇者に謁を賜はり、同二時廿五分飛行場御發、沿道堵列して奉迎申し上ぐれば兩殿下には決戰下銃後の逞しき半島民衆の上に御目をとどめさせられながら御恙なく同三時昌德宮に入らせられた

總督、軍司令官以下 御機嫌奉伺の記帳

李王、同妃兩殿下の御歸鮮に際し午後三時過ぎ相前後して李王職を小磯總督、板垣軍司令官、田中政務總監、總督府各局長、高京畿道知事、古市京城府尹は夫人同伴にて訪問、御機嫌奉伺の記帳を行つた

社説　青少年よ大空に羽搏け

山本元帥の機上戰死、山崎部隊の玉碎、南太平洋方面航空戰の熾烈、等々連續的大本營の發表は戰局の現段階が如何に峻嶮深刻であるかをはつきりと一億國民の腦裡に叩き込んだ。戰ひは正に皇國日本隆替の岐路に立つ決戰段階にある。我等が鋤を執り、ハンマーを握り銃後の勤勞を終り一家團欒、ラジオの演藝に顏をほころばせる時も前線にあつて我等の父は、兄は、友は血を流して戰つてゐるのだ天皇陛下萬歲を奉唱して殉國の士として散華してゐるのだ。我等銃後の者は働く時も休む時もこの事をゆめ忘れてはならぬ。

この決戰に次ぐ決戰の熾烈な戰局から觀て敵の我が國内への空襲は必至と覺悟せねばならぬ勿論我が防衞陣は儼乎としてゐる。しかし大空には國境も無ければ防塞もない、入つて來ようと思へば何處からでも入つて來られる。案内も豫告も無しに大擧來襲する。それが空襲の本質である。來襲する飛行機は飛行機を以つて防がねばならぬ。擊滅せねばならぬ。その飛行機を操縱し敵を邀擊する者は誰か、萬里の蒼空を蹴つて敵を求め、或は敵基地を擊滅し大東亞戰を完勝へと導く者は誰か、青少年諸君、それは君等だ。君等の滾々として盡きるなき若き肉體の力、溢れてなほ止まぬ激しい闘魂、それこそ國を護る力であり國力伸張の樞軸だ。大空を制する者は世界を制する。航空戰の勝敗が結局今次大戰の勝敗を決するのだ、青少年よ、大空に羽……

朝鮮石炭會社　十月より營業開始

自家用は統制除外　買入業者に賣戻

決戰半島產業の基礎たる炭業の再編成については小磯統理の重要產業政策の一つとして徹底增產と有無煙炭を通じた消費利用の合理化の二本建で可及的鮮炭による自足體制編成を目標とし、まづ昨秋炭價の改訂を行ふとともに強力な補助金主義によることとし、總額一千四百四十九萬六千餘圓の豫算外負擔中十八年豫算に九百九十一萬五百圓を計上その他補助金と合せて一千八十一萬一千七百五十圓をもつてこれに充當することとしたが更に統制機構も本年初め確立した無煙炭利用增進對策による消費合理化と並行し生產機構、配給價格の調整機構を確期的に整備することに決定、朝鮮石炭配給統制令案の措置を進めつゝあつたが、かく廿九日附本令の公布をみた、かくして配給價格統制機構は生產機構と結び強力な機能を持ち朝鮮石炭統制會社（資本金一千萬圓、內四分一拂込）設立により山元個別生……

地方行政刷新強化へ劃期的措置　閣議決定

九地方行政協議會創設

府縣割據の弊を防除

【東京電話】政府は戰局の決戰的樣相に對處すべく過般の第八十二臨時議會において企業の整備、食糧の增產を二大戰施策を決定、着々國內必勝體制整備を進めつゝあるが今回さらに右の決戰施策を圓滑に實施し國內體制を完璧ならしむる構想に基いて內政運營の劃期的改革を斷行するに決し、廿八日午後二時より特に臨時閣議を開催、これに關する大綱および人事などを附議正式決定し、同日閣議散會後この旨情報局より發表された

今回閣議決定せる內務行政改革の要點は官制の改正によらず職案となつてゐた新機構を具現した點にあり、全國を北海、東北、關東、北陸、東海、近畿、中國、四國、九州の九群地域に分ち、各群の中心的長官に群下の知事に對する指示權を附與して當該群の行政全般にわたる綜合的運營に當らしめ、このため各群別に地方行政協議會を創設すると共に中央と各群との連絡に當りもつて戰時內政の迅速適切なる運營を具現するにある、すなはち今回の劃期的措置は角陷り勝ちであつた獨善的孤立的な現段階行政の弊害を打破して綜合企畫性を持たしめるとともに政府の地方に對する迅速且つ充分ならしめて生產、配給、輸送、港灣行政など戰力增強の絕對的必要を圓滑に充足する一方複雜多岐にわたる事務を一元的に強力に運用し得るに至つたわけで企業の整備、食糧の增產確保の緊急對策がこれを契機に積極的且つ効果的に推進されることは勿論、外大東亞建設の急進展に對應するわが國內決戰體制はこゝに搖るぎなき態容を整へ內外相呼應する決戰施策に具體化せられることゝなつたわけである

地方行政刷新強化方策要綱

情報局發表【廿八日午後五時卅分】現下地方行政の重要性にかんがみ府縣割據の弊を防除し關係官廳の連絡調整をはかり、さらに進んで特別地方行政官廳の所管行政にもわたり各種施策の綜合的運營を具現し、もつて官廳を擧げて渾然一體となり戰時地方行政の振作に邁進するの態勢を整へんとす、その要綱左の如し

一、地方別に地方行政協議會を左の如く設置すること

設置すべき地方
北海地方　北海道、樺太
東北地方　青森縣、岩手縣、宮城縣、秋田縣、山形縣、福島縣
關東地方　茨城縣、栃木縣、群馬縣、埼玉縣、……神奈川縣……
東海地方　……
北陸地方　……
近畿地方　……
中國地方　……
四國地方　德島縣、香川縣、愛媛縣、高知縣
……山口縣、廣島縣……

會員懇話會

東亞經濟懇談會朝鮮委員會

東亞經濟懇談會朝鮮委員會第一部會（金融、交通、交易、勞務）および同第二部會の會員懇話會は大東亞經濟朝鮮專門委員會發會式に引續き午後一時半から……ホテル、後者は京城……それぞれ開催、來賓として……から井野前農相、小山農林……管理局經理課長、中西東亞經……飯會常務理事、朝鮮側から……各局課長、朝鮮軍參謀長代理ほか……

敵輸送船に必中彈

海鷲サボ島沖で凱歌

當局は混沌狀態

米の食糧危機へフーバー一矢

經濟統制强化

國府最高國防會議臨時會議

議長駐在縣

臨時閣議

伊軍週間戰果　擊沈破十七隻

第二戰線要求　駐蘇ソ大使強調

石油專賣制　七月一日實施

內閣各省委員　けふ正式決定

報道班の勞苦偲ぶ
板垣軍司令官〝報道展〟一巡

〝報道班員とはどんな仕事をするか〟を一目に認識せしめる『朝鮮軍報道展』は三越四階に開催中で連日人氣を呼んでゐるが廿八日午後三時板垣朝鮮軍司令官は井原參謀長以下を從へこの日特別に開いた會場に元氣な姿を現はした

山田鐵伯、松田三越支店長の案内で新聞雜誌の報道記事、報道寫眞初め繪畫卅五點及び詩歌の原稿等第一次朝鮮軍報道演習參加班員の力作に『ホホウ、報道班員も仲々張切つてるね』と一々うなづいて場内を一巡、朝映俳優鐵銀鷗氏が戶川一等兵作詞の『鬪魂』を朗誦すれば板垣司令官は拍手で應へ、引續き『鐵山增强展』を觀覽して同四時引揚げた【寫眞＝報道展を觀る板垣軍司令官と井原參謀長】

綜合戰力の發揮
榮光の勝利は生産增强にある

谷萩報道部長

谷萩部長報道講演

【東京電話】谷萩大本營陸軍報道部長は廿八日夜七時から京都圓山公園において『戰爭遂行の現段階について』と題し對處すべきわが國民の注意を喚起したが講演要旨左の如し

大東亞に おけるわが優位なる戰略態勢はすでに確立した、すなはち占領地域のほとんど大部は有力なる陸上基地化され、こゝに所要兵力の展開を終り新作戰の準備は先づ完了したのである、近時航空機の發達の結果は大空を制するものが戰場の勝者となる、制空權のあるところ制海權隨つて存するのである、しかして制空のため陸上基地－飛行場を中核とする立體的要塞の價値は偉大なるものがあつて、この威力圏下において は陸、海、空の戰ひを有利に戰ひ得るのである

南太平洋 方面においてはわが軍は戰爭開始とともに疾風迅雷、米英國の惡勢力を掃蕩することが絶對に必要であつたので後方に施設をなす如き餘裕はなかつた、すなはち追擊にまた追擊を加へつゝニューギニヤ島およびソロモン群島の線に進出したのである、また東ならびに北太平洋方面においては、ワシントン條約による現狀維持の取極から全く防備を施すことが出來なかつた小笠原群島、千島列島などに對して應急の施設をなさねばならなかつた かくの如き情勢下においては、敵の迅速なる基地推進を妨害し、しかもわが後方施設の時間の餘裕を得るために挺身部隊を敵中深く挺身せしめこゝに敵威力を吸收壓制せしむる必要が起る、ニューギニヤ島のブナ附近、ソロモン群島のガダルカナル島などに派遣せられた部隊が、すなはちそれである、したがつて挺身部隊の勇戰敢鬪は戰史に永くその勇名を輝はるものである、現段階においては漂渺たる太平洋上に無數に散在する島々は

彼我何れ かに屬する陸上基地となりこゝに配屬せられたる航空機の航續力の增大の結果洋上は何れかの陸上基地の威力圏内に入つてゐる、從つて今後太平洋方面戰況の樣相は陸上基地を中心とする航空內線作戰すなはち航空部隊を適切に運用し某時期、某方面に優勢を保持し敵を各個に擊破するといふやうなやり方になると思ふ、しかして海戰ならびに通商破壞戰などがこれに附隨して行はるるであらう、大陸における戰ひの樣相は大洋におけるものとは聊か趣を異にする、制空權の獲得なくとも陸上の戰鬪は可能なのであつて、これが過去六ケ年間重慶軍が對日抗戰を繼續し得た所以なのである

しかし近時決戰重點が空に移り特に敵米英は航空機によるわが本土爆擊をもつてその作戰方針となす以上近き大陸に基地を求めこゝに空軍を强化せんとするのは當然であつて、われ〳〵はこれに對應することが必要である、これがためには敵の抗戰本據を覆滅し敵武力を剿打するのが第一であるが、それに至るまでの期間は敵の後方輸送路を遮斷し空軍の發備進發を制しあるひは飛行場を爆碎する如き作戰行動がとられなければならぬ、今日支那、ビルマ、泰、佛印などに進駐しある皇軍はこの行動を有利かつ迅速にとり得る態勢にありすでに敵を封殺してゐるのである

しかして戰爭の勝利は武力を中心とする

綜合戰力 の發揮にある、戰意昂揚も敵愾心の振起も飛行機、船舶、鐵、石炭、アルミ、肥料などの生産擴充も食糧國內自給も海陸空輸送力の增强も企業整理も防諜も防衞防空も學徒總動員もすべて綜合戰力增强のためなのである 今日大東亞の各國家諸民族は何れも日本に協力しあることは欣快に堪へない、しかして大東亞に埋藏されあるひは生産されつゝある資源は急速に戰力化され大東亞自給自活は可能となり長期持久戰ともならばます〳〵この威力を發揮するの確信を得た次第である、ソ軍冬季攻勢の局部的成功、北阿より獨伊の撤退、獨軍の對ソ攻勢發起の遲延などにより歐洲戰局を觀測的に悲觀的に判斷するものも少くないが、これは宣傳に乘ぜられたもので獨伊の戰政兩略の態勢は依然優位を保持しつゝある

また歐洲先決主義については過般のルーズベルト、チャーチルの 華府會見にてその 原則を取極めたが重慶および濠洲などの要望もあり東亞の方面に對しても從前より以上に重壓を加ふることになつたと認められる

我が國は 獨伊との共同の見地より進んでこの重壓を負擔せんとするもの…國は

諺言にも任務
この佳話、民防空鐵壁

牛島鐵原の防空監視に殉じた佳話―鐵州郡鐵州金融組合給仕、知伯信夫君(一七)は昨年十二月一日附監視哨員を拜命、滅私奉公の精神をもつて忠實に持場を守り、上司、先輩、同僚の尊敬を一身に集めて來たが、偶々同僚の母が亡くなるや東奔西走して同僚の喪を完うしたが、その時病を得て床に就いてしまつた、この間當番勤務が來るや病を押して同僚哨員の處に出掛けて代理勤務を依賴して其の責任を遂げ六月四日、死の日再び當番であることを病勢の中からも忘れず實父に〝病氣のため殘念ながら服務出來ない…監督に屆けて下さい〟と賴んだのであるが、その熾烈な責任感に感激した監督は金五圓を慰問として送つた、信夫君は死の直前まで〝この金は監視哨から戴いたものだ、これを持つて共に死ぬんだ〟とつぶやいて居並ぶ人々を泣かせ、また病中譫言にも『僕は家に歸る』と頻りにいふので『お前の家は此處ですよ』と話しても『僕の家は監視哨だ』と言つては頑として聞き容れなかつたといふ、之は平常警察署長が『監視哨である』と…

多彩な〝海〟の行事
七月廿日、海の記念日

世界に誇るわがくろがねの威力は敵米英の暴壓を擊破して七つの海を制覇するとき七月廿日第三回海の記念日を迎へ…

先づ良兵への訓練
學徒戰時動員體制について
京城師團報道部が要望

學徒の決戰體制を强化すべく學徒戰時動員體制確立要綱はいよ〳〵本極まりとなり朝鮮でもこれに基き近く具體的方策を實施することとなつたが、同要綱は學徒の力を大東亞戰爭を勝ち拔く『武力戰』に結集せしめるもので、京城師團報道部ではこれが實施を前に左の如く全鮮學徒に要望した

學徒戰時動員體制確立要綱については新聞にも發表され、また大野學務局長も所信を明かにしてゐるが、次ぎのことをしつかり把握して貰ひたい、すなはち學徒は直ちに武力戰に參興し得るやう訓練せらるべきである、現在の皇軍における最新鋭の小中尉將校の大部分は幹候出身者であり、また國民の大部分は兵隊になる、兵隊の義務を立派に果してのち歸鄉して銃後生産の擔當に努力するといふのが建前である、從つて武力戰が第一義であり勞動員は第二義である…

大阪市內御巡視
伏見宮故博義王妃殿下

【大阪電話】伏見宮故博義王妃朝子殿下には 畏くも 皇后陛下の御内旨を奉じさせ給ひ、決戰態勢下の地方民情特に銃後婦人の活動御視察のため廿三日午後三時五十三分關急上六驛御着御來阪、廿四日から三邊府知事の御案内で府下廿ケ所を御巡視、生産都市大阪の戰爭完遂に盛り上る力强い樣を親しく御視察遊ばされたが二十七日をもつて四日間にわたる御視察を滯りなく終へさせられ二十八日午前八時四十分大阪驛發列車で御離阪あらせられた

鹿兒島縣下御視察
久邇宮故多嘉王妃殿下

【鹿兒島電話】決戰下銃後女性の上に御心を垂れさせ給ふ國母陛下の御內旨を奉じさせ給ひ、遙々御西下遊ばされた久邇宮故多嘉王妃靜子殿下には六月廿五日朝御來縣鹿兒島市をはじめ縣下各町村各職域に敢鬪する銃後女性の逞しき活動振りを三日間に亘りいと御熱心に御視察遊ばされたが殿下には二十七日をもつて三日間にわたる御日程を終へさせられ二十八日午前八時半御離縣の途に就かせられた

赤誠の獻納機命名式

【春川電話】江原道內各國民學…

海洋筏で玄海を乘切る【終】

【朝鮮海峽横斷中の海洋筏上にて大山(秀)特派員發】朝鮮造船界へ貴重な用材として初乘りする海洋筏は長崎縣木材會社、同移出木材荷受船積組合關係者並に佐須村發賀壯年團員等地元民の

全面的協力 と日本木材、朝木關係者の獻身的努力により地の不利、編筏施設の不備等を克服し眞擊敢鬪〝輸送戰を海洋筏で勝拔くぞ〟と決意も固く作業所要十一日で三千五百石、廿七萬才、價格十萬圓、總重量一千噸といふ小島のやうな海洋筏を編みあげ廿三日午後二時作業を完了し曳航船鐵雨丸の『フツク』へ曳綱(八分のワイヤロープ二本)もかけられあとは晴れの發筏を待つのみになつた

同日午後五時同筏上に於て阿比留村長、財城警察署長、平山職業指導所長、長崎稅關出張所長、郵便局長その他村の官民並に關係者等二百餘名參集の下に金比羅神社の神官より嚴かな發筏式を擧行、筏の中央には日の丸の旗、前後部へは〝祝出陣〟〝輸送戰を海洋筏で勝拔け〟などと大書された數本の幟が潮風になびき、鬱蒼たる美林に圍まれた小波の海面には飛魚(當地の俗名あご)が威勢よく飛び、對馬名物の一である鷲數十羽は夕暮れの青空を舞ひ何れも海洋筏の無事安着を祈り祝福するかのやうで、式終了と同時に同村に於て筏の晴れの出發を祝ふ神酒と して裕福でない中から殘してをいた有難い心遣ひの神酒で筏上宴を開き〝海洋筏萬歲〟を三唱して散會した

神酒に祈る初航海
かくて運輸戰に勝てり

廿四日愈々 玄海の黑潮へ驀進する晴れの出陣だ、午前四時曳航船鐵雨丸の汽笛を合圖に乘込むべき全員が傳馬船によつて筏に集合した、總指揮者石野氏と朝木の上田副參事は筏を隈なく檢分し同五時半出發汽笛が鳴る、石野、阿比留村長、慶南造船用材共販の幹部諸氏は曳船に乘移り、小宮長崎縣木材豐崎出張所長、安藤同事業課長、安藤壯年團員、上田朝木副參事と共に記者もボストンパツクを曳船に預けて筏で玄海を渡ることを決意した『潮をかぶるから曳船に乘移る』やうにと再三いはれたが記者はこれを固辭し斷然筏に留まつた、筏上には萬一に備へるべく使ひ古して軟くなつたマニラロープが準備されてゐる、如何に凪でも海上のこと、何時なんどき大嵐が來ぬとも限らぬ、その際は體を筏の材木にくくりつけるためだ 海岸一帶には初の海洋筏の征途を送る國民學校兒童、大日本婦人會員その他佐須村民總出の六、七百名が手にする小旗を振り上げ萬歲、萬歲と盛大なる歡送は筏が外に出るまで續いた、やがて筏は徐ろに港外に曳されて來る、陸、曳船、筏上に三巴の萬歲の聲は三方を圍ふ美林にこだまして時ならぬ感激の坩堝…

深夜でも買へます
府內に特賣所を新設

來れ大空へ
雛鷲らが郷土の友に呼掛く

氷

本社寄託獻金

國防獻金

恤兵金

急行列車の時刻

漏れなく受けよ！

あす全國一齊に"大祓の儀"

波田總務總長談

卅日全國一齊に執り行なはれる『大祓の儀』に呼應して半島でもこの日各職場をはじめ愛國班、家庭等で嚴かに執行、二千五百萬一人も洩れなく大祓をうけ、皇魂を發揚して御奉公するが、國家祭祀であるこの大祓の儀にのぞむ國民の決意を如何にしたらよいか、その『大祓について』を總力聯盟波田事務總長に訊いてみる、以下はその談話

卅日は大祓の儀が執り行はれる日である、一體、祓とは神道獨特の行事で、凡そ神事の行なはれる時、先づ以つて祓がある事は誰でもよく知つて居ようが、その起源は遠く神代に溯り現在迄行はれて來た大祓と申せば恒例としては六月と十二月の晦日に行なはれる儀式であつて國家の大事には臨時にも行はれる、全國的に

罪穢を拂ふ ので大祓と申すのである、ゆゑに國民として誰一人洩れてはならぬのである殊に決戰下の今日に於いては、より深く此の眞意義に徹すると同時にこれを實行して、皇魂を涵養し御奉公致さねばならないと考へる、此の日、畏くも宮中におかせられましては『節折の御儀』と申すのに次いで『大祓の儀』が執り行なはれると洩れ承つて居る、謹んで按じ奉るに、『節折の御儀』においては國家萬民が日常の間に犯した罪穢を一切天皇御親ら御引受け遊ばされ、之を祓除し給ふもので誠に畏れ多い極みである、また『大祓の儀』は

賢所前庭の 祓所に於いて職掌主典以下皇族の御總代を始め各官廳の總代參列の下に百官有司及び全國民の罪穢を祓ひ、世界萬邦を祓ひ宇宙萬有を祓ひ淸められるもので、こゝに絶對無比なる皇國の眞髄がうかがはれるのである

そして此の趣旨を以つて神宮並に官國幣社以下一般神社に於いても夫々大祓の儀が行はれるのである

卽ち此の大祓を受ける我々は、これによつて自らに堆積した一切の罪穢を祓ひ謹ぎ心身共に淸らかに、明るく、正しくなる[illegible]によつて 天皇に歸一し奉るのである、天皇歸一の大義に徹する事は卽ち

皇道精神の 眞髄であり我々日本人の生命であつて、八紘爲宇の大精神が世界指導原理として絶對性を有する事の自覺も、またこの自覺によつて雄渾なる實踐の底力が澎湃として迸り出るのも皆此所に源を發するのである

この事を考へると、大祓が國家として國民として如何に重大なる意義を持つものであるかがおわかりになることと思ふ、時として形代を神社に納めて祓つて戴くといふやうなこともあるが、これは單に一個人の厄除けや病除け等とのみ考ふべきことではない、内鮮を問はず相共に相互の罪穢を祓ひ除き淸めに淸めて御稜威の下一丸となつて

皇運扶翼に 挺身すべきである

實に大東亞戰爭そのものも、從來の個人主義、唯物主義により墮落し汚れ果てた世界、就中米英の神を畏れざる不逞の徒によつて累積せる世界の凡ゆる罪穢を祓除して眞に正しく淸く明るい世界を建設せんとする八紘爲宇の精神に基く崇高偉大なる戰爭であるのである

この『すめらみこと』の御稜威を發揚し奉り、我々として、[illegible]

二百圓獻金

[illegible]

給水難から解放

夏を控へてこの朗話

夏の給水期を目睫に控へ水道確保が叫ばれてゐるとき町に擴がる水道需給の朗話一齣—

京城三淸町三五一帶は水道が敷設されてゐるにも拘らず、高地帶のため住民達の給水に多大の不便を來してゐたが

非常に備へての貯水も必要とするので、同町東部町會では李活總代の音頭で水道難打開委員會を結成、是が非でも水道難を解決しようと[illegible]は三淸町東部の三百世帶は夏季の給水難から解放されるわけである

近く馬鈴薯の洪水

お米と一緒にかうして常食

二億貫生産の目標めざして半島決戰食糧の一翼へ邁進その勤勞の聖汗酬いられて馬鈴薯の收穫期を迎へる、官民あげての必死の敢鬪はその生育を順調ならしめ今年は"馬鈴薯豐穰の夏"だ

これぞお米の"豐穰の秋"の前奏曲でもある、近く市場に、八百屋にどつと溢れ出ようとする、この馬鈴薯を今年こそは加工食用として馬鈴薯米にして常食しよう、ではそれをどう加工したらよいか、其秘策を總督府農林局堀山技師に説いてもらふ—【寫眞=堀山技師】

馬鈴薯米は、色は白く、形は米に似て味亦良好にして而も製造極めて簡單で長期貯藏にも堪へ如何なる家庭にても容易に應用し得られる

生馬鈴薯を水で良く洗ひ、粗皮を去り、新薯ならば其の儘、古薯ならば皮を剥き、大根切干製造の際に使用する千切器を用ひて先づ細切し、更に之を庖丁にて横に三分位の長さに切り、切りたる薯を空氣に曝し置く時は赤褐色に變化するから直ちに之を笊に入れ笊の儘水に浸し置き、相當の分量になれば米を磨く時の如く手で良く揉んだ後、別に汲み置きたる淸水に約四〇—五〇分間浸し、次に笊の儘を揚げ、別に沸し置きたる熱湯中に數分投じて攪廻した後取出し、良く湯を切つて筵の上に薄く擴げ日乾する

日乾は時々攪拌し、早く一樣に乾燥する樣注意すれば晴天一日で充分干し上がる、これが卽ち馬鈴薯米であつて、生馬鈴薯一貫匁より生の切片約三升を得更に之より七八合の馬鈴薯米が得られる

この馬鈴薯米を以て飯を炊く場合は、普通は米の二割五分位の割合に之を混じ、水加減を稍多くすればよい、又生馬鈴薯を前述の如く切片として卽座に飯を炊く場合は、普通は米一升に切片一升（水中に浸して揉み洗ひたるもの）の割合に釜に入れる際米の中層に入れ、米と等量の水加減をすればよい、又馬鈴薯の切片を熱湯中に數分間煮沸したるものを用ゐる場合は、前同樣の割合にて、唯其の切片を釜入れの際米の上層に載せて炊けばよいので、此の方法に依る方が口當り一層良好で且つ生の場合よりも夏期腐敗の憂ひがない

なほ馬鈴薯の切片を揉み洗ひした水を暫時靜置して澱粉を沈澱せしめ靜かに上澄液を捨て、更に新しき水を加へ、再び澱粉の沈むを待ちかくすること二三回で最後に沈澱したものを集め、新聞紙等に薄く擴げ日乾する時は、馬鈴薯一貫匁を切つたとすれば約二、三十匁の澱粉を副産物として採ることが出來る

『常在戰場』の意識昂揚

禪道と茶道を戰ふ女性の錬成にとりあげた京城地方遞信局では局内女子從事員廿餘名を廿八日から七月四日まで一週間毎日午後三時から五時半まで京城博文寺の上野舜潁老師の下に參禪し、常在戰場卽禪の妙諦を如法に誦讀しまた同寺茶室では千家流師範三上宗俊女史の指導のもとに日本的性格の形成に精進し、戰ふ女性の錬成をする、なほ同局ではこの成績により府内現業局の女從事員にも及ぼす【寫眞はその精進ぶり】

船遊びの淨化

龍山署が目を光らしてゐます

酷暑とともに漢江人道橋附近は遊泳、ボートで府民の鍛錬場として賑はふが、これらの中で最近時局も辨へず目にあまる船遊びをなして風紀を紊す不心得者が增加するので龍山署保安係では近く保員總動員で取締りに乘り出すことになつた、これにつき廿八日松山保安主任は次の如く一般の確固たる決戰意識を促した—

遊船中の酒類持込みは許可してゐないが、中には密かに持ち運んで亂痴氣騒ぎをなす者や漢江岸で風紀を紊す不屆者がある前線將兵の勞苦に思ひを馳せて決戰生活を一段と昂揚せねばならぬとき、これらの不心得者に對して徹底的取締りを强化するとゝもに嚴罰方針で臨む

盗んで賣る

[illegible]

戰火を潜り日本へ

スヰスから女流詩集の贈り物

【東京電話】世界を蔽ひ燃す戰火の中に正しく强く美しく聳え立つ日本の眞姿を讃仰して遠く瑞西の女流詩人の勞作になる美しい詩集が幾多の戰陣を越え贈られて來た時の國ジュネーブに育つた瑞西一流の女流詩人エメリア・キッシャ・アルペレー女史は幼時から日本の美に憧れその研究に半生を打込んでゐるが、かねて蒐集した短歌の版畫數百枚の中から六枚を選んで表紙ならびに口繪として纖細な感情を籠めて日本を詠ふ萬葉詩を添へて八十頁四六版大の詩集『小さな喜びの國から』を昨秋十月ジュネーブで上梓した

この憧れの日本に獻げた詩集は女史の舊知であり、ジュネーブ滯在中は女史のために日本美術の研究相談役を引受けた商工組合中央金庫理事長吉坂俊藏氏の手許にこの程贈られて來たもので同氏から『多くの人々に彼女のひそやかな知日の喜びを知つて貰ひたい』とさらに國際文化振興會の手に渡されたこの珍しい贈り物は讀む者を感激させてゐる【寫眞=エメリア・キツシヤ・アルペレー女史より贈られた詩集の表紙】

雇主も惡い

閑散人夫賃金

勞働力の排底を狙つて一儲けしようと永登浦驛前附近には毎朝八時になれば閑散人夫が集り、雇主があると一人當り三圓、乃至五圓といふ賃金を取つてゐるので永登浦署經濟係では近く一齊取締を實施することになつたが石川主任は語る

現在府内における普通勞働者の公定賃金は最高一圓七十五錢、最低一圓十二錢で標準賃金は一圓四十錢であるのに三圓乃至五圓を取つてゐるがこれは雇ふ方がわるい、かやうに高く拂ふから工場會社の一定就勞を嫌がるのだ

幽靈家族一掃

[illegible]受給者の增加率が現在人口よりも遥かに多いのは幽靈家族のためだと永登浦區役所では警察と連絡して各町會職員愛國班長などを動員、近日中に戸別調査を行ひ不正受給者を嚴罰に處することにした

[illegible]れ木下明春(二)は昨秋から府内住宅を荒し廻り、衣服類(五圓)を窃取、去る廿六日朝東大門市場で販賣中、東大門署員に逮捕された

大京城"朝の洗顔"

府内七區役所八千名の淸掃

サツと滑めらかな路面に[illegible]繼く、官廳の街頭奉仕作業[illegible]をつけた京城府廳では毎月[illegible]曜日を奉仕作業日と決め街[illegible]の初の試みとし廿八日午前七時から本廳初め府内七區役所職員八千名が一齊に淸掃奉仕に飛出した、漢江人道橋から三角地、京城驛前から南大門通り、府廳前を經て光化門交叉點、鍾路和信前から同三丁目、昌德宮[illegible]る府内全域に亙つて一齊淸掃[illegible]始、千田總務部長以下各部課[illegible]び區長を部隊長に『淸掃始め』[illegible]令と共に同八時街頭淸掃行事[illegible]へた【寫眞=和信前の奉仕】

署長さんから表彰

[illegible]

戰艦獻納音樂會

[illegible]相氏、出演者は半島樂團の四十名を動員、演奏曲目は[illegible]ン作曲、交響曲第四十五番の序曲『天國と地獄』他大[illegible]、二重唱、圓舞曲と行進曲[illegible]奏等で今回の收入は全部戰[illegible]として海軍に獻金する

食糧配給の訓練

永登浦食糧報國隊では有事のときの食糧配給を完璧ならしめるため隊員の訓練を廿七日行つた、岩永隊長以下百卅名が警察署庭に集合約二時間に亘り軍事教練並に配給の實地訓練をした

行旅病死者慰靈

寄邊なき不遇な行旅病人病歿者の靈を慰めるため行旅病人を收容する京城龍山佛教慈濟院では昭和十七年度收容行旅病人病歿者百七十七名の追悼法要を廿九日午後二時から元町瑞龍寺で嚴肅盛大に執行する

掏摸取押へらる

廿五日午後四時ごろ黄金町六ノ七三木工金山榮鎭(三)は東大門發淸涼里行電車内で下往十里町五四七木村定春氏のチョツキポケツトから三圓六十九錢入りの財布を掏摸取つて飛降り逃走せんとするところを木村氏に氣付かれ取押へられて東大門署へ突出した

田植七割五分を突破

開豐部管内の田植状況は例年より一週間も早く廿五日現在で七割五分の移秧成績を示してゐるが、水利組合の設置されてゐる箇所は全部完了、用水の不充分な箇所は目下揚水中で今月末迄には全部植付を終了する模樣である

塵埃の搬出日

傳染病跳梁の要季にはいつて仁川府社會課では各家庭の塵埃蒐集をわきざみに强化、各町別七月中の蒐集日を左の通り決定した

七月一、八、十六、廿三、卅日=旭町、花町、敷島町◇同二、九、十七、廿四、卅一日=桃山町、柳町、栗木町、京町◇三、十、十八、廿五、八月二日=彌生町、花房町、松坂町、月尾島町◇四、十一、十九、廿六日=花水町、花平町、萬石町◇五、十二、廿、廿七、四日=山根町、龍雲町、龍岡町、西京町◇六、十三、廿一、廿八=昌榮町、金谷町、松峴町、松林町◇七、十四、廿二、廿九日=本町、仲町、山手町、港町、海岸町、濱町、宮町、新町

傳染病の豫防藥服用を强調

赤痢、腸チフスの多發期に對處し開城署衞生係では、これが豫防の徹底を圖つて豫防内服藥の服用を勸奬中であるが、現在までの人員は約二萬名で尚相當數の未服用者もあり一人も洩れなく服用する樣强調した

タコ釣りにご注意

夏季に入ると共に窓を開放し其の儘就寢すると竿で衣類を釣る犯人が續出の傾向にあるので開城署大山司法主任は防犯に一般の注意を喚起して次の如く語る

これからは空巢を狙ふ泥棒が續出する、いくら暑いにしても窓はきちんと閉めて寢ることにし其の鋪道路へ出て縁臺を敷いて轉寢をしてゐるものも多いが風紀上からも惡く、事故を起し易いのでこれもやめてもらひたい

ラジオ 29日

朝 六・三〇 武士道と信義▲九・三〇（城）大祓ひの意味と心構へについて（鮮語）▲一〇・三〇箏曲▲一一・〇〇朗讀日本昆虫記—大町文衛・作—▲一二・三〇（城）昔の戰爭と今の戰爭（一）（鮮語）

夜 午後六・三〇（城）佐伯京畿道農政課長に内地に於ける朝鮮青年、農業報國隊員等の勤勞奉仕視察談を訊く（鮮語）▲七・三〇（城）兵營生活の一日（錄音）▲八・〇〇講談小牧山合戰（下）神田伯龍、バイオリン獨奏（城）放送劇（鮮語）"繁榮一家"—石仁海・作—

大いなる祭【172】

中野實（作） 三芳悌吉（繪）

大いなる祭（四）

一台の馬車が、深い轍の尾をひきながら驛前の廣い通りを挾つてゐる。

うす汚い馭者がいかにも得意さうに鳴らす鞭のうしろに、洋裝の女の客が、淡紅色のハンカチを口もとにあてながら、俯向き勝ちに車上に揺られてゐた。

本町通りを右へ曲がり、郵便局の前まで來ると、婦人は馭者に、

『こゝでおろして頂戴』

と云つて、小錢を握らすと、郵便局と反對側の屋並にそつてすこしばかり、ヨーロツパ屋と云ふ看板のあがつてゐる食料品商の店へ入つて行つた。

客の姿を見ると、滿人らしい支那服の店員が、むツつりした表情で、彼女のそばに近づいた。

『果物の罐詰が欲しいんですけど……』

と、注文すると、その店員は、黙つて、蜜柑の罐詰を出して、ガラスの陳列棚の上においた。

『パインアツプルはありません？』

『パインアツプル？』

と、彼は鸚鵡返しに、

『ありません』

と、不愛想にこたへて、そんなことは判り切つてゐるのにと云はぬばかりに、棚の中にしまひ込んだ。

『おやあ、ウヰスキーは？』

『ウヰスキー？』

『えゝ、ウヰスキーがなければ、ブランデーでも結構なの。すこし高くてもいゝんだけど……。本ものがあればなほ結構だわ。こちらの御主人にたのめばあるからつて、きいて來たのよ。掌櫃（じやんぐい=主人の意）にきいて見てくれません？』

『さうねえ』

と、まだあやしい日本語で、彼は、ちよつと探るやうな目附で客の顔を見てゐたが、

『一寸待つて下さい』

と云つて、奧へ引つこんだ。店にはほかに誰もゐなかつた。彼女は、ちらつと腕時計を見て、その店の壁にかゝつてゐた柱時計の時間にあはせた。と、間もなく店員はひきかへして來て、

『掌櫃、すぐ來ます』

と告げた。

『ありがたう』

そこへ、奧から、ずんぐり肥つた藉顔のラクミストロスキーが現はれた。

『いらつしやい』

と彼はあざやかな日本語に、人をそらさない愛嬌を湛へて、

『ウヰスキーですか』

『えゝ』

『ほう』

と彼は肩をすくめて手をひろげ

『ウヰスキーありません』

『おやあ、ブランデーは？』

『ウオツカあります』

『ウオツカで結構です』

『すこし高いです』

『えゝ、高くてもいゝですわ』

さう云つたかと思ふと、急に、その女客は、足もとをよろめかせて持つてゐたハンカチで額をかかへ乍ら陳列棚の上に顔をふせた。

『あなた。どうしましたか！』

ラクミストロスキーは驚いて彼女の顔を覗き込んだ。

新刊紹介

▲獨逸そらの巨人（中正夫著）獨逸空軍の今日あらしめた三巨人ツエツペリング伯を初めユンカース博士、ゲーリング空相の人と仕事を物語風に書いた評傳（B六判、二八三頁、二圓、東京・小石川・小日向臺一ノ四一潮文閣）

▲不滅の科學者（矢川徳光著）近代科學の光輝者ケプラーを初め、ガレリオ及びニユートンの生涯とその仕事についての興味ある科學物語（B六判、二四〇頁、一圓八十錢、東京・小石川・小日向臺一ノ一四潮文閣）

登記公告

[illegible]

夕刊
京城日報
京城府中區太平通一丁目三十一番地
發行所 合資會社京城日報社

大東亞經濟建設に半島の總力凝集
朝鮮專門委員會發足

決戰下、半島經濟をあげて大東亞の經濟建設に協力するため過般新設された大東亞經濟朝鮮專門委員會の發會式は前關相、現顧問會常任總務井野碩哉氏を迎へて、專門委員會、各分科會、在鮮會員並に關係官民三百餘名出席のもとに、廿八日午前九時から府民館中講堂に於いて盛大に開かれた
來賓として田中政務總監をはじめ鹽田農林局長ほか本府關係官、井原朝鮮軍參謀長（代理）馬中國京城總領事その他在城官民有力者多數臨席

先づ國民儀禮ののち、穗積委員長より一場の挨拶があり、次で田村常任幹事より大東亞經濟朝鮮專門委員會設置に關する經過を報告、續いて穗積委員長より各分科會主査（鑛工業分科會＝萩原朝鮮鑛振社長、農業分科會＝林朝鮮農會長、交通分科會　陸運＝林茂樹、海運＝樫本朝郵社長、勞務分科會＝伊達土建協會長、金融分科會＝君島朝鮮銀行副總裁、交易分科會＝横瀬東亞貿易社長）次で東亞經濟懇談會常務理事中西敏憲氏より『大東亞經濟委員會の性格および運營方針』に、大東亞經濟朝鮮專門委員會との『關聯』について説明、引續き田中政務總監、井原朝鮮軍參謀長（代理）の祝辭があつて十分間休憩、同十時廿五分再開、前農林大臣井野碩哉氏は『大東亞經濟建設途上における農林政策の基調』と題し

大東亞戰爭を勝ちぬくための農林政策には應急對策と恒久對策の二つの面がある、即ち應急作には米穀の國家管理によつて國內の食糧給源態勢を確立し、恒久對策としては日滿支を通ずる食糧增産の具體方策樹立および農村對策として〝皇國農村〟の確立が焦眉の急である

と强調、約一時間半に亙つて熱辯を振ひ同十一時半閉式、出席者一同朝鮮ホテルにおける小倉會長招待の午餐會に臨んだ

東亞經濟懇談會朝鮮委員會第一部會（金融、交通、交易、勞務）並に第二部會の會員懇話會は發會式に引續き第一部會は朝鮮ホテル、第二部會は京城商議會議室で午後一時からそれぞれ開催

第一部會に於ては林殖銀頭取より『半島の勞務問題』小林鮮鐵理事より『朝鮮の金融事情』新貝司政局長より『朝鮮の交通』鈴木城大教授より『決戰段階の朝鮮經濟』についてそれぞれ演説、第二部會に於ては立岩本府鑛產所長より『朝鮮の地下資源』今坂日鐵兼二浦製鐵所長より『朝鮮の鐵鋼業』久保田鴨電社長より『半島の電力』內野輕金屬統制會朝鮮支部長より『朝鮮の輕金屬』についてそれぞれ演説、終つて半島產業經濟の諸問題について種々懇談を重ね同五時終了した、なほ井野前農相は同五時半官邸における小磯總督招待の晩餐會に臨んだ

官の諸施策に協力
田中總監、祝辭で要望

今日は懇談會の發會式の目出度い結成日でありまして私も總督府の代表として斯様な盛儀に出席いたしましたが御諒承願ひます、東亞經濟懇談會朝鮮委員會內に新なる機關として大東亞經濟朝鮮專門委員會が設立されることになりましたことは諸公、會議所會頭及び本部の方々のお骨折の賜でありまして心からお祝ひを申述べる次第であります

この會の發會式において吾々の親しみの深い前農林大臣、元拓務大臣井野閣下をお迎へすることが出來たのは誠に喜ばしい次第であります、私も末席に就いてお祝ひ申し上げることを無上の光榮と存じます、この種の會議は各地に〔用〕置澤山あり〔ま〕して目下その統一を要求されて居ります東亞經濟懇談會が主となつて大東亞經濟圈建設のために各種の會議を催し各外地に向つて正確なる會議の運營を致してゐることは喜ばしい次第であります

今日大東亞經濟建設が叫ばれてゐるが、これは我國建國の昔からの理想であり運命であつてそれが今日各地域に如何なる姿として現はれてをります、我國の終局の目途のために國民の幾多の準備へを必要とする、我が帝國の光被が各地域に輝くことに對して從來經濟的なる點があり申した、經濟的ばかりでなく政治的にも然りであります、今日の日本が本土に閉鎖した態度で考へることは間違ひであります、大陸觀をもつて共榮圈の民族を何處までも引きつけなければなりません、新たに伸びつゝある地域に對する正確な認識を缺くことは出來ません、今日の大東亞經濟懇談會の如き有力なる團體がやゝもすれば官の施策の及ばざることに對して或は根本的な問題に於いて或は實際的な問題に於いて正しき示唆を與へて大東亞經濟建設に貢獻されることは當然であつて正にしかあるべきであります

東亞經濟懇談會の本部に對しては、兩者の首相を最高度に發揮するためには如何にこれを認識し協力し連携するかといふことを充分に考へて頂くことであります、當地の民間有力者の方々に對してはこの委員會の御ふ使命をお國のために役立つことについて御研究の結果を當局にお示しを頂き我々を鞭撻して官の施策が民間に徹く、上滑りすることなからしむるやうお願ひ致します

本府の歩み方、姿を各地域とびつたり結びつけて各地域の使命を達成せられんことを希望します、私は臨時議會に出席のため東京に參りまして、中央の激しい活動、廻つてゐる姿に接し、新たなる創意工夫といふものが不斷に發展し漸次科學的になりつゝあることを痛感しました、夢想だにしなかつた新しき發明が出來、軍事產業に貢獻しつゝあることを喜ぶ次第であると同時に激しい奮鬪を續けねばならぬことを痛感しました、我々自身反省をいたし同僚と共に政治行政の運營に就てはなるべく最善を期したいと存じます、官民相提携いたして產業朝鮮の發展のため大東亞經濟建設のために努力したいと思ひます

產業人も總蹶起
『決戰生活實踐』を推進

【東京電話】戰力增强に結集する一億總蹶起の秋に商業經濟人も率先起ち上り、その實現機關として『決戰生活實踐』設立が計畫されてゐたが、いよいよその打合會が、廿九日東京丸ノ内日本工業俱樂部で、一流財界人が參集して開催される

この運動の主唱者は井坂孝、小倉正恒、藤山愛一郎、結城豐太郎の四氏で、まづ京濱地方在住の經濟人を一丸とし、會員の『決戰生活』實踐を指導推進し、會員相互の啓蒙協力をはからうとしてゐるが

會員はもちろんその家族をも決戰生活實踐に參加させて町內會、部落會、隣組などの隣保組織にも積極的に働きかけるほか會員所屬の職域、其他の團體にも及ぼさうといふ今までにない固い決意を示してゐる

大東亞經濟專門委員會發會式（府民館で）田中總監の祝辭

生糸買入賣渡價格
等級を改正大幅引上げ

總督府では廿八日附告示を以つて蠶絲業統制令第八條に基く朝鮮蠶絲統制會社の買入及び賣渡價格額價引上並に生糸の規格改定に伴ふ認可した

即ち今回の認可は廿一中の標準値を買値（十貫當）八百九十八圓、賣値同一千廿圓としたもので昨年度に比し買値は百五十圓の引上となつてゐる、この引上價格の差額卅圓は從來の蠶糸統制會社手數料を會社負擔として節約した結果生じたものである

また本年度より規格の全面的改訂が行はれたが、これは從來の外國向製品を內地向に切替たもので、等級を整理して從來の十等級を五等級に改め、纖度も十七中、廿五中、卅七のデニールを廢止した、玉糸は從來の十等級を三等級に改め四纖度を新設、價格は据置とした、なほ檢査は纖度、大節のみを行ふ

新價格の實施は七月一日、昨年七月十三日附を以つて告示した蠶糸統制會社の買入及び賣渡し價格は六月卅日限りその效力を失ふ

赤軍基地を猛襲
獨空軍各方面に猛威

【ストツクホルム廿七日同盟】東部戰線では地上戰が比較的平靜を持してゐるに反し空軍活動は熾烈化する一方で不斷の航空決戰が展開されてゐる、デー・エヌ・ベー通信によれば

赤軍損害甚大
中部で白兵戰

【ベルリン廿七日同盟】デー・エヌ・ベー通信軍事記者エルンスト

【ストツクホルム廿六日同盟】ドイツ通信の報道によれば東部戰線の赤軍は廿五日モスコー西南方のオリヨール地區とスモレンスク北方ベリキーエ、ルキ地區でまたも攻勢を再開、有力なる戰車、歩兵部隊をもつてドイツ軍陣地を强襲したがドイツ軍の巧妙なる防禦戰術によつて攻擊企圖を粉碎され、またも大損害を蒙つて敗退したといはれる、一方モスコー情報によれば獨ソ兩軍はさらにハリコフ東南方のバラクレイヤ地區とオリヨール西南方のセフスク地區で熾烈な陣地奪取戰を展開したといはれるが戰鬪は局部的で戰局の大勢には變化はなかつた模樣である、かくて東部戰線の地上戰は依然として前哨戰の域を出でないが大作戰展開の可能性が全然消滅したのではないことも勿論で、一英紙のモスコー特派員もこれに關し次の如く報じてゐる

ソ聯側現在の戰線小康状態のあとに必ず大規模な戰鬪が開始されるものと豫想し目下前線陣地および兵站基地の增强に狂奔してゐる、また赤軍機關紙クラスナヤズベズダも長文社説を掲げ東部戰線の諸局がいつ急轉するかわからないと論じソ聯民衆にドイツ軍戰力を過小評價すべからざることを嚴重に警告してゐる

二修正案可決
ルーズベルトまたも敗北

【ブエノスアイレス廿六日同盟】ワシントン來電＝商品金融會社の存續期間ならびに借入れ權限の延長法案は、さきに下院を通過して上院に廻付されてゐたが、これに對しミズリー州選出民主黨議員ベシネツト・クラークは助成金交付を禁止する旨二修正案を提出、廿六日上院は卅九票で同修正案を可決、上院は食糧品の價格、配給に關する完全な統制權を食糧調整局長官デービスに附與するとの商品金融會社法案に關する修正案をも可決し、これを下院に再廻付したデービスに對する全權附與案にはすでにルーズベルトは反對を表明してをり、かくして右二修正案においてまたもルーズベルトは敗北を喫したわけである

智利外相訪米延期

【ブエノスアイレス廿六日同盟】チリー大統領リオスは懸案のワシントン訪問を中止、外相フェルナンデヌを訪米せしめる旨發表したが廿六日のサンチヤゴ電報によれば、フェルナンデヌもまたアメリカ訪問を當分延期することとなつたといはれる、但し延期理由は發表されてゐない

米潛艦アール二號沈沒

【ブエノスアイレス廿五日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は潛水艦『アール二號』が米國東部海岸水域において演習中に沈沒した旨廿五日發表した、喪失の日附は發表されてゐない、同艦は一九一九年進水排水量四三〇トンである

內閣、各省委員增員

大を加へてをり、その運用と寄與には多大の期待をもたれてゐる

內訌依然續く
佛解放委員會

【リスボン廿六日同盟】過去半歲にわたり揉みに揉んだド・ゴール派とジロー派の軋轢のフランス解放委員會が去る廿二日最後の妥協案としてジローを北阿および西阿のフランス駐軍の司令官に据えようと決議したことによつて表面上は一應解消したかに見えたが、ド・ゴール派は依然納まらず、依然ジローは攻擊を止めてゐないやうだ、すなはち北阿におけるド・ゴール派の機關紙ロンベツトは廿六日の批評で以上の妥協案を痛烈に攻擊、左の通り述べてゐる

ド・ゴールが國防長官の椅子を與へられなかつたことはわれわれを痛く失望せしめた、フランス國民には解放委員會の妥協案には反對だ、フランス國民にとつて必要なのは單一の軍隊と唯一人の軍司令官で二個の軍隊と二人の司令官ではない

西國外交使臣更迭

【マドリード廿六日同盟】スペイン政府は今回外交使臣の更迭を斷行、廿六日外務省から次の通り發表された

▲任トルコ駐在公使（ルーマニヤ駐在公使）ホセ・デ・ロヤス・イ・モーノ▲任ルーマニヤ駐在公使マヌエル・ゴメス・イカルイス・オリバ　レス・イ・ブルシヤ▲任パラグアイ駐在公使ルゲラ▲任　ウルグアイ　駐在公使（パラグアイ駐在公使）テオドニロ・デ・アギラル▲任ブエノスエラ駐在公使ミゲル・エスエペリウス・ペト

獨オランダ占領地長官逝去

【ベルリン廿七日同盟】オランダのナチス黨交涉部長兼オランダ占領地長官フリッツ・シュミット氏は公務旅行中フランスにおいて奇禍に遭ひ死去した旨廿七日發表された、ヒ總統は同氏の葬儀を命令した

けふ臨時閣議

【東京電話】政府は廿八日午後二時から首相官邸において臨時閣議を開催、戰局の決戰段階にかんがみ戰力增强をさらに一段と推進すべき企業整備、食糧增產等に關する法律、豫算の急速なる實施および當面の諸問題につき協議を進める

護送船團を襲擊
樞軸空軍反復爆擊

ルッセル島を爆擊
米空軍陣地に集中彈

【ブエノスアイレス廿七日同盟】ワシントン來電＝米國海軍省は日本航空部隊がルッセル島の米空軍陣地に爆擊を加へた旨廿七日發表した

蹶起するジャワ

民衆警察の確立

建設戰へ五千萬の協力
運し二大組織運動

部落の住民が輪番で夜警に當り務者は村道又は水路の補修等を部落住民が無報酬でやる慣習である、この二つの慣習を生かすとゝもに、さらに廣汎な任務をもたせて組織されたものが新しい警防團である、純然たる民間團體ではあるが、重大な警察任務を有する軍政への協力組織體であるといふ點にその特徴がある

組織と監督と任務

警防團を組織する地域の標準は區であり、更にその下部組織として字に班を組織することゝなつてゐる、各州には大體一千程度の區があるので、全島十七州二特別市を合すると約二萬の區がある、わけで一區の警防團員は五十名乃至百五十名である、團長及び班長は原則として區長及び字長を以て充て、團の指揮監督は第二次的となつてゐる、警察署のない村では村長を指揮監督者とし警察署長は第二次的となつてゐる、警防團の任務は極る廣汎で大要左の如くである

（一）諜報及び謀略に對する內偵及び警戒（二）對空監視、警報傳達、燈火管制指導、交通整理、防火防毒、救護、避難指導等の民防空業務（三）沿岸監視（四）風水火震災その他の災害に對する警戒及び救護（五）匪賊、強盜その他非行者に對する警戒及び搜査（六）浮浪者、興行動不穩者等の出入取締（七）夜警事務（八）地方の安寧秩序保持上必要と認める事項

民衆總力運動
思想戰線に重點

民衆總力結集運動はマライ語でグサツトトナガ・ラヤツトといふ、原住民の間ではこの語の頭文字を取つてブツトラと略稱される、ブサツトは集中する、トナガは力、ラヤツトは民衆である、しかしてブツトラといふ略稱はマライ語『青年』といふ一つの單語であつて、この運動が『若きジャワ』又は『新ジャワ』を示唆する新しい建設運動であることを表現してゐる

青年團が勤勞運動を目指し、警防團が治安組織をねらつてゐるのに對しブツトラは精神運動であり、思想戰線に重點を置いてゐる、最近後の建設戰においては原住民の軍政に對する協力ぶりはジャワ軍政を成功せしめた一員となつてゐるが、この協力氣運を一層確固不動のものとするとゝもに米英撃滅への精神の緊張をゆるめることなく、持續的に昂揚しつゞけることが肝要である、かういふ意味でこの運動は民衆總力結集への精神面、思想面における啓蒙と指導の運動にあるといへる

三亞運動はジャワ戡定直後軍宣傳班によつて指導された民衆運動であつたが戡定直後の占領地機構に際し逸早くわが戰爭目的を民衆に叩き込み、軍政施行に對し突嗟の間に民心を把握してしまつたといふことは、確に一つの成功であつたといへよう

その運動のスローガンは（一）アジヤの光日本（二）アジヤの母體日本（三）アジヤの指導者日本、といふのであり些か抽象的、非理論的であつたにせよ、それだけに程度の低い一般原住民には理解し易く、嘗ても米英側が盛んに宣傳してゐた例のⅤ運動（ビクトリー運動）を阿鼻して大東亞共榮圈確立に對する原住民のアジヤ的覺醒を促した點は特筆せねばならぬ

我軍政に目醒める

ところがこゝに注目すべきは昨年秋頃から民心の動向にやゝはつきりした具體的欲求が現はれ始めたといふことである、手つ取り早く言へば彼等は先づ、過去における和蘭政府の搾取政策をわが軍政と比較することによつてはつきりと知るとともにアジア人種としての彼等の地位と使命とに對する認識を深めるに至つたが、さてそれならば今後はどうしたらよいかといふことを求めはじめたのである

しかしながら、先頃行はれた官吏登用試驗に『大東亞戰爭と吾等の使命』といふ題で作文を書かせたところ和蘭政府の搾取政策については實に巧みに眼口を書いてゐるが、さて彼等の使命といふ段になると完全に書けたものは少なかつたといふから、彼等の時局認識の程度はどの程度であるかも大體想像がつく、從つて彼等の新欲もまだ今のところ漠然としたものであるが、しかもそのモヤモヤとした意欲なり希望なりが除々に明まつて來たことは事實であるからかゝる氣運を行動化するために明確なる方向を與へてやることが必要となつた、三亞運動に代つて民衆總力結集運動が登場したことは客觀情勢の推移を物語るものであるとともに原住民の精神的協力團體の強化であるといへよう

鼻の惡い人は
―必ず頭が惡い―
◉手輕に治したい方へ無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、鼻が乾く人、頭が常に重く記憶を鈍える人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物忘れの甚だしい人、蓄膿症、肥厚性鼻炎等鼻の病でお困りの方は醫學ドクトル新發明の最新の治療法を御一讀下さい。鼻病の治療にはどんな療法が一番よいか、鼻病の見分け方治し方、驚嘆即快の秘訣等懇切丁寧に說かれてあります。希望者は『京城日報』で見たと記入しハガキで京城府本町四丁目ミナド製藥京城營業所へ御申込下さい。即時無代進呈致します。（廣告）

想ひ起せ蘆溝橋の一發

來る七月七日事變六周年記念日

米英を擊滅・必勝へ邁進

來る七月七日は支那事變六周年記念日である、蘆溝橋に轟き渡つた一發の銃聲は支那自らの禍を呼び、帝國をして大東亞建設への歷史的な巨歩をふみ出させた、あれから七年、わが日本は、いま世界の醜敵米英を足許にふみにじつて大東亞戰の戰果は北に南に、地球の上を燦然と輝かせてゐる、こゝに光被されて逞しき息吹きに新生する國民政府の頼もしき姿をみよ—その若き姿は帝國と共生同死を誓つたのだ、支那事變が首途となつてかうして建設の登竜も急な大東亞戰下再び〃七月七日〃を迎へるに當り總督府では〃二千五百萬の決意〃を促す通牒を廿八日各道知事に發した

支那事變が大東亞戰爭に包含されてゐる以上、今年は別に記念行事は行はないとこでも、儀禮苛烈を極める現下の血の決戰様相に應つて銃後半島は支那事變から大東亞戰爭に飛躍した、その必然的な歷史と運營の關係を想ひ起し、こゝに米英擊滅の決意を新たにして二千五百萬めいめいが、生產に貯蓄に或は軍人援護に銃後の御奉公を一層と勵め、決戰生活を愈々確立して大東亞の敵、米英必殺陣へ再出發する機會となつたのである、かくして銃後半島は　この七月七日を中心に二千五百萬各自が大東亞戰完遂への覺悟を新たにして職場に、或ひは愛國班の陣頭に奮ひ起つて山本魂に、アッツ島玉碎の英靈につゞくべく再出發へ逞しく力強い第一步をふみ出さなければならない

七月の總力回覽板

『總力回覽板を申上げます……』と七月の總力聯盟掲示板原稿が廿八日府內諸官廳、銀行、會社、百貨店、映畫館　等に夫々配布された〃清潔を重んじて住みよい半島に致しませう〃滿都と勤勞の奮闘を呼懸ける外か徵兵令に備へての〃戶籍及び寄留の屆出〃それに昨今最も必要な〃決戰防諜強化運動〃の徹底等が七月中擬擬を通じて街頭放送が行はれる

〃產業朝鮮の喜び〃

總監、鍊成姿で首途の祝辭

大東亞經濟專門委員會發會式

廿八日午前九時から京城府民館中講堂で行はれた大東亞經濟專門委員會の發會式に田中政務總監が旅の疲れも顧みず臨席し、新發足する委員會の前途に對し祝辭を述べた、この日の總監は職員と共に朝の特別鍊成を終へその足で現れたのであらう　拍車付きの　長靴も輕快に定刻颯爽と式場に臨んだ、臨時議會に出席して昨朝歸著、旅裝も解かず總督官邸を訪問、引續き各局長との　懇談と多忙な　歸任第一夜を　明かしたばかりの　總監である、式場正面の席には一足遲ひに臨席した井野前農林大臣の例のにこやかな巨體が見える

國民儀禮に次いで穗積委員長の挨拶、東亞經濟懇談會常務理事中西敏憲氏の〃大東亞經濟委員會の性格及び運營方針〃に大東亞經濟朝鮮專門委員會との關聯に就て〃と題する說明講演があつて

やがて靜かに總監は登壇〃今日は總督府の鍊成日でありましてこんな異樣な服裝で出席いたしましたが御諒承願ひます〃同時に變らぬ元氣な聲である

大東亞經濟懇談會、朝鮮委員會內に新な機關として大東亞經濟朝鮮專門委員會が設立されることになりましたことは御當局所管頭、本部の方々のお骨折りの賜で朝鮮にとつて誠に欣快に堪へない次第であります、今日大東亞經濟建設が叫ばれてゐるがこれは我が國建國の昔からの課題であり使命であり時局下朝鮮の役割が愈々重視されつゝある、此の秋に當り官民は相提携し產業朝鮮のために一段と奮起して頂きたいと朝鮮經濟の推進機關として出發する專門委員會の首途に鄭重な祝辭を述べた

本社早朝鍊成

六回目を開催

本社第六回早朝鍊成會は廿八日午前七時五十分から府民館大講堂にて開催、國民儀禮に次いで波田總長の〃一人の力〃と題する大略次に如き講演があり社員一同に多大

美はし〃瞼の師弟愛〃

〃先生せひ朝鮮に來て下さい〃

吉岡訓導と漢川少年

【下關電話】玄海を越えて未だ見ぬ師に寄せる教へ子達の綴情物語—下關郊外江の浦國民學校吉岡憲一訓導の協和教育に對する熱心な精進が本紙に紹介されて吉岡訓導と咸北城津府本町漢川弓燦少年の通信が始まつたのは本年三月であつた、爾來內地に渡つて直接師事したい漢川少年と『職域地域は距てゝも臣道を邁進する皇民の赤誠には些かの相異もない』と其の大成を翹望する吉岡訓導との通信は頻繁に續けられてゐるが此の事實を知つて漢川少年の友人五名が次々に未だ見ぬ吉岡訓導を慕つて通信を求め寫眞をねだり、果ては

漢川少年が代表として『先生、今年の夏休みには是非朝鮮に來て下さい、私達は貧乏で內地まで行けませんが先生の旅費位は夏休み中に私達が働いて作りますから…』

といふいぢらしい申出に、吉岡訓導は未だ見ぬ是等の教へ子達に感激教育で『協和魂』を涙をホロリとさせて居る、そして內鮮同胞の進むべき途をの反響を待ちながら『今年の夏季鍛錬期間中に十七年の協和教育觀を小冊に纏めたいと計畫してゐますら現地資料蒐集の旅を兼ねの子供達を訪ねたいとも』す』と海を超えた師弟さ逞しさを見せてゐる—『路』の聖壇期當である【寫眞—吉岡訓導＝下關要塞司令部檢閱】

半島農報隊は學ぶ（7）

胸打つ〃田圃の訓示〃

縣廳のお歷々自轉車で激勵

貯蓄報國成績掲示

貯蓄の夏の陣⑥

〃嫁入支度〃に彈む女工

貯蓄は銃後の護り、本年度の貯蓄目標高十二億圓突破の一役を擔つて驀進する京城地方專賣局工員貯蓄組合の進軍譜を說けば、昭和十三年八月貯蓄組合を結成してからこゝに幾星霜、現在貯蓄高既に五萬四千圓といふ物凄さ

同所は工員達の移動率が激しいため、通帳制を廢止し綜合的カードを作つて國民貯蓄を勵行してゐるが毎月工は天引貯蓄の規定額より十五割增、女工は廿五割增の大幅的で實行してゐるのだ

このほかに皇太子殿下の御誕生記念貯蓄、簡易保險等と目覺しい貯蓄報國振を示してゐる

このうち最も女工達に喜ばしてゐるのは嫁入支度預金である、これは各自の任意に貯蓄するものであるが、仲々の人氣で〃嫁入支度だけはわたしが働いたお金で〃と既に五百圓近い額、通帳を抱いてゐるといふ微笑ましい意氣込みである

なほ三月、九月の決算期には工員貯蓄の現在高を掲示して〃負けてはならじ〃の貯蓄熱を喚起する、栗色の作業服に純白の作業帽の工員達は池田管理係長指導の下に貯蓄乙女の頼もしさを誇つてゐる【寫眞＝京城地方專賣局の工員貯蓄獎勵】

狹心症患者に一大福音

名古屋帝大で外科手術試驗に成功

【名古屋電話】內科的療法を施されてゐた狹心症が、今回名古屋帝大醫學部齋藤外科教室で最初の心臟冠狀動脈レントゲン寫眞撮影成功によりその病理研究を…

後三國志

吉川英治作　矢野橋村畫（181）

けふの市況